スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【新潟県津南町】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	新潟県津南町
担当課名	津南町教育委員会
電話番号	025-765-3134

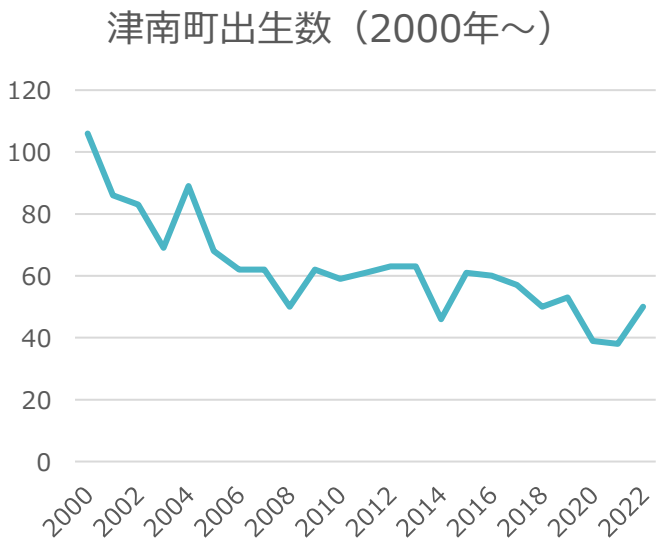
1．自治体の基本情報

基本情報

人口	8,672人	部活動数	8部活
公立中学校数	1校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	117人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

津南町における出生数の減少が近年顕著にみられ、団体競技は特にチームとして成り立たないことが懸念されている。一方で、教職員の働き方改革により、教職員が担当する部活動で当該競技の専門性がない部活動もあり、教職員にとっても子供たちにとっても最適な環境とはいいがたい状況である。そのため、生徒数に見合った部活動数に見直すとともに、活動の選択肢を広げていく必要性の双方を考慮しなければならない。令和4年度に教職員、保護者、児童生徒に対して部活動改革アンケートを行い、現在加入している部活動及び今後やってみたい部活動等について回答してもらい利用者目線での現状と課題を洗いだした。
令和3年度から町内のスポーツ団体には、スポーツ活動を中心として地域移行を担ってもらいたい旨の依頼をし、令和5年度から休日の部活動地域移行の施行実施期間として8種目において始まった。また、すでにクラブチームが主となって中体連の大会に出場してきた競技団体もある。令和5年度に施行実施のできなかった種目については近隣市町村との広域連携も視野に検討していく。また県立津南中等教育学校との連携についても協議をしていく。

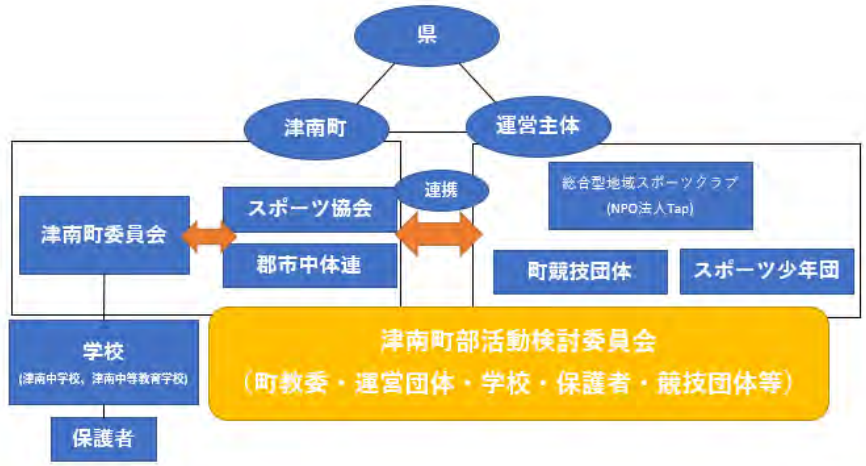


出典：住民基本台帳

2．実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織の役割

● **教育委員会**（生涯学習班）
学校・保護者・町内スポーツ団体をつなぐコーディネーター役として、津南町部活動検討委員会を開催し部活動地域移行に関する認識を関係団体で共有する。また、学校と町内スポーツ団体の現状と課題を把握し、課題解決に向けて取り組んで行く。

年間の事業スケジュール

４月：部活動地域移行に関する保護者説明会（PTA総会）
５月：部活動入部説明会・体験入部
５月：部活動参加希望調査の実施・各スポーツ団体へ参加希望者の通知
　　各競技団体保護者会議にて年間活動計画や活動費等について説明
　　町内スポーツ団体において月１回程度から地域移行による活動を実施
７月：第１回津南町部活動検討委員会
12月：第2回津南町部活動検討委員会

2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

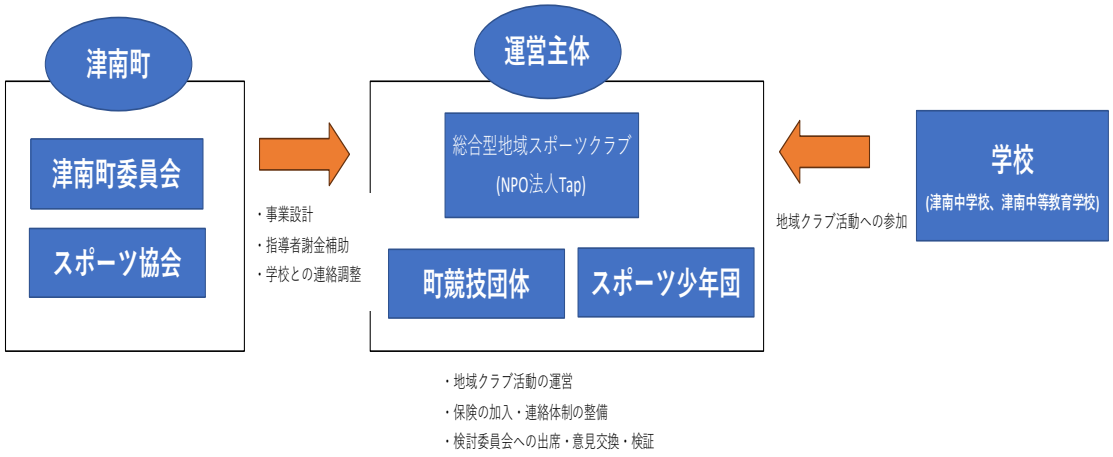
拠点校数	1校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	バスケットボール、スキー（クロカン）、スキー（アルペン）、バドミントン、陸上、水泳、バレーボール、ソフトテニス
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	8部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	津南町立津南中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	8部活
地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール、スキー（クロカン）、スキー（アルペン）、バドミントン、陸上、水泳、バレーボール、ソフトテニス
運営主体名	津南町スポーツ少年団
運営類型	体育・スポーツ協会運営型
１か月あたりの平均的な活動回数	各種目：月1回程度
指導者の主な属性	スポーツ少年団指導者（有資格者）
活動場所	町内公共施設
主な移動手段	保護者送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	各種目：10,000円程度
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：1,000円/年 指導者１人あたり：2,050円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項	津南町には公立の中学校が１校であるため、市町村担当職員がコーディネーターとして運営団体・実施主体と中学校の連絡調整を行う。 また、部活動検討委員会を定期定期に開催し、団体ごとの進捗状況や課題を確認し情報共有と意見交換を実施する。
取組の成果	令和５年7月と12月に2回検討委員会を実施し、地域移行受け入れ団体・スポーツ関係団体・町内小中学校・PTAから担当者が集まり情報交換や課題の確認をすることができた。その結果として少なからず課題はあり、種目ごとに進捗の違いはあるが、8種目すべての団体において地域に移行した活動を実施することができた。
特に工夫した事項	部活動検討委員会の中では学校での部活動の様子や各団体の進捗状況や課題について情報共有をすることができた。 また、地域移行実施の検討種目の団体にも参加してもらうことで、次年度以降の地域移行について前向きに検討することができた。
今後の課題と対応方針	令和8年度の休日の地域移行本格実施に向けて、各団体の実状に応じながら取り組みを進められるように引き続き部活動検討委員会を定期的に開催する。また、町がコーディネーターとなり各団体が活動を進めていけるように連絡調整を実施する。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項	部活動地域移行の受け入れ先をスポーツ少年団等、既存の団体に担ってもらうことで指導者の量の確保につなげる。
取組の成果	既存の団体に地域移行を担ってもらうことで、学校におけるスポーツの部活動8種目のうち6種目を含む8種目において地域移行における活動を実施することができた。また、スポーツ少年団等に受け入れてもらうことで、ライセンスをもった指導者から専門的な指導をうけることができた。
特に工夫した事項	津南町は自治体の規模も小さく、地域移行のために新規の組織を立ち上げても既存のスポーツ少年団・スポーツ協会と各種目において人材が重複することが予想される。そのため、既存の団体に部活動地域移行の趣旨を説明し、理解をしてもらうことで既存団体への受け入れへとつながった。また、スポーツ少年団等の活動において土日に活動している種目もあり、当該種目においてはそのうちの月１回の活動を地域移行の活動とみなすこととしている。当町には町立学校が１校のみであるため、種目によっては地域移行による活動とスポーツ少年団活動の参加者は同一である。
今後の課題と対応方針	種目によっては地域移行による活動とスポーツ少年団の活動の参加者が同一であるため、区別はない。また、このような種目については地域移行による活動のみの参加者がいないため活動費の設定もない状況である。また、指導者の質の保証のためにもライセンス取得の推奨や、町としても研修会等の実施に取り組んでいく必要がある。「休日の」部活動地域移行については課題はあるが、活動を拡大していくことはできそうであるが、「平日」も含めての活動に移行していった際にはどこまで指導者の確保ができるのか課題である。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項	地域移行の活動に参加するための経費は受益者負担を基本とする。 ただし、令和5年度については補助事業を活用し指導者謝金については各団体に補助をする。
取組の成果	保護者・各スポーツ団体等関係者に部活動地域移行の認識について共有、理解してもらうことで受益者負担を実現した。 ただし、令和5年度については補助事業を活用し指導者謝金について各団体に月１回分を補助をした。補助をすることで、参加者の費用負担を軽減することができた。
特に工夫した事項	5月の活動が実施される前に指導者謝金の単価・支払い方法等を各団体に明確にすることで、各団体とも積極的に活動に取り組むことができた。
今後の課題と対応方針	今年度は各団体に月１回分の指導者謝金を補助したが、次年度以降の対応をどのようにするか。受益者負担を基本とし、各団体とも次年度以降は活動回数が増えていく中で、補助金も活用しながらどのように受益者負担に移行していくか。 また、経済的な負担により参加を諦める子どもがでないように対応していかなくてはならない。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和５年度津南町休日の部活動地域移行種目の概要

活動名	津南町スポーツ少年団				津南ランニングファン(TRF)	Tapスイミングスクール	津南ジュニアバレーボールクラブ	津南ソフトテニスクラブ
種目	バスケットボール 	スキー（クロカン） 	スキー（アルペン） 	バドミントン 	陸上（楽しむ） 	水泳 	バレーボール 	ソフトテニス 
運営団体	津南町バスケットボール協会	津南スキークラブクロカン部	津南スキークラブアルペン部	SNOW-BIRD(スポ少)	津南町陸上競技協会	NPO法人Tap	津南ジュニアバレーボールクラブ	津南ソフトテニスクラブ
活動方針	バスケットボール を楽しもう！ バスケットボールを知ろう！	スポーツ少年団に入って 活動します！	スポーツ少年団に入って 活動します！	心と身体を育てて 大人への階段へ一歩 踏み出そう！	走って津南を知ろう！	元気な心と身体を育てよう！ 水泳をうまくなろう！	バレーボールに親しみ 楽しもう！ 自分を表現しよう！ 強い絆で結ばれよう！	ソフトテニス をうまくなろう！
対象	津南中・中等前期生の 部活動生徒 または部活外の希望者	津南中の生徒 （ほかの希望者は要相談）	津南中・中等の生徒	バドミントンスポーツ少年団 加入者	誰でも参加可能	津南中・中等前期生の生徒 スイミングスクール参加者	津南中・中等前期生の 部活動生徒 または部活外の希望者	津南中ソフトテニス部生徒 部活外の希望者(高校生も可)
練習日 会場等	・月１回 ・第３土曜日 ・16:00~18:00 ・津南町総合センター 体育館	・津南中部活動顧問と調整	・シーズン中の土日祝日 ・8:30~15:30 ・マウンテンパーク津南 スキー場	・週４回 ・15:00~18:00(月、水) ・20:30~21:30 （日、木、スポ少後） ・津南町総合センター 体育館	・月２回 ・毎月第２木・土曜日 ・木曜18:30~19:30 ・土曜9:00~11:00 ・木曜中津川運動公園 土曜各地域	・月４回 ・毎週土曜日9:30~11:30 ・平日週４回17:30~19:30 （月、火、木、金） ・クアハウス津南	・月１回 地域の実情に応じて推進 ・8:30~11:30 ・津南中体育館	・月２回 ・土日どちらか （コーチの都合のつく日） ・9:30~11:30 ・津南中か中津川運動公園の テニスコート(夏場) ・津南中体育館か 津南町総合センター 体育館(冬場)
移動手段	各自	各自	各自	各自	各自	各自	各自	各自
大会参加	大会参加は学校単位が基本	大会参加は学校単位が基本	大会参加は学校単位が基本	地域クラブとして 中体連大会に参加	年1回ローカル大会出場	大会参加は学校単位が基本	大会参加は学校単位が基本	大会参加は学校単位が基本
経費	検討中 （別途スポーツ保険料）	6,200円/年(スポ少団費)	8,000円/年(スポ少団費)	10,000円/年(スポ少団費) 3,000円/月(クラブ費) +大会参加費	2,000~3,000円/月＋保険代	8,100円/月 （平日分込み、保険代含む）	検討中	検討中
その他		スポ少加入が条件 十日町との合同練習あり	スポ少加入が条件 近隣チームとの合同練習あり	スポ少加入が条件	競技志向は他へ	町外生徒含む		今後十日町との連携あり

【令和5年度津南町休日の地域移行種目の概要】

2．実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【活動の様子（バスケットボール）】



【活動の様子（クロスカントリー）】

2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●受け皿団体や指導者の選定依頼
津南町において部活動の地域移行を実施するために、指導者確保の観点からスポーツ関係団体、スポーツ少年団からの協力を得られることが必要不可欠であった。

●部活動地域移行検討委員会
令和4年度から検討委員会を定期的に実施。当初は令和5年度からの休日の施行実施に向けての検討会となった。令和5年度からは、実施するにあたっての課題の確認や他の自治体の取り組みを共有する機会となっている。また、地域移行未実施種目の現状も確認し次年度以降の意向を確認することもできた。

●部活動改革アンケート
部活動地域移行を進めるにあたり参考とするため、教職員・小学生・中学生・保護者を対象にアンケートを実施した。アンケートはインターネットを活用し、学校に協力を依頼し１人１台端末を利用して学校で回答してもらった。結果として高い回答率となり今後の取組の参考とすることができた。

●生徒、保護者への説明会
町立中学校及び県立津南中等教育学校のPTA総会において、生徒と保護者を対象に部活動地域移行の今後の進め方を説明し意見交換する機会となった。説明会の単独開催ではなくPTA総会の場を提供していただいたことで多くの生徒・保護者と対面で話をすることができた。

3．今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

【新潟県津南町】

